

「商業科目」の教科学習について

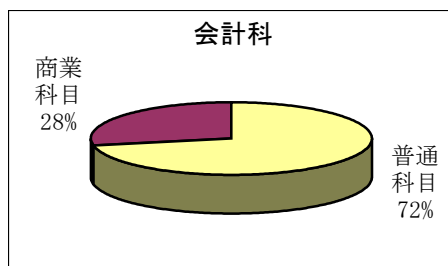
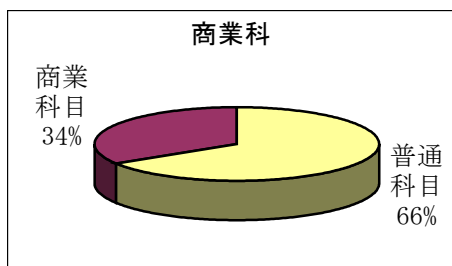
長野商業高等学校

I 普通教科・科目と専門教科・科目

本校では、普通科目の学習と商業に関する専門科目の学習がおこなわれます。

商業科では、3年間で、普通科目を58～60単位、専門科目を30～32単位、合計90単位を学習します。ですから、授業時間は、約3分の2が普通科目、3分の1が専門科目ということになります。

会計科では、3年間で、普通科目を65単位、専門科目を25単位、合計90単位を学習します。商業科に比べて普通科目の比重がやや高くなります。



II 商業科・会計科

1 商業科

就職・進学など、幅広い進路に対応できるよう、商業科目および普通科目を幅広く学習します。

商業科で学習する商業科目

学年	単位数	必修選択	科 目 (単位数)
1	10	必修	ビジネス基礎(2)・課題研究(1)・簿記(4)会計(1)・情報処理(2)
2	8	必修	課題研究(1)・会計(4)・ビジネス情報(3)
	3	選択	商品と流通・プログラミング・原価計算・マーケティング
3	6	必修	総合実践(2)・課題研究(1)・経済活動と法(3)
	6	A選択	商品と流通・原価計算・会計実務・プログラミング
	2	B選択	(商業科目) マーケティング・英語実務・国際ビジネス・商業技術・ 文書デザイン・ビジネス情報 (普通科目) 国語表現Ⅰ・世界史A・日本史A・地理A・政治経済・化学Ⅰ・ 生物Ⅰ・ライティング・フードデザイン・発達と保育

※ 選択科目は、各自の興味・関心や進路希望に応じて選択します。

2 会計科

商業科目「簿記」「会計」の学習を中心に、国語、英語の普通科目も充実させ、商業系4年制大学への進学を目指します。授業のほかに、進学のための補習や学習合宿をとおして、実力をつけて

会計科で学習する商業科目

学年	単位数	必修選択	科 目 (単位数)
1	8	必修	ビジネス基礎(2)・課題研究(1)・簿記(4)会計(1)
2	8	必修	課題研究(1)原価計算(3)・会計(4)
3	5	必修	課題研究(1)・会計実務(2)・情報処理(2)
	4	選択	マーケティング・英語実務・国際ビジネス・商業技術・文書デザイン

いきます。

※ 選択科目は、各自の興味・関心や進路希望に応じて選択します。

Ⅲ 「商業科目」の学習目標と方法

1 ねらい

- (1) 商品の消費・流通などの状況や、産業のしくみなどを理解し、自らの力で経済社会に対応していける学力と教養を身につけます。
- (2) 事務、商品の流通、経営管理などの専門知識や技術を生かすことができるように、実務能力を身につけます。
- (3) 科目「総合実践」や長商デパート大売出しなどの体験的学習をとおして職業観をやしなひ、経済活動に従事できる態度を養います。

2 学習の方法

- (1) 学年が上がるごとに発展させていく科目が多いので、1年では、基礎知識・学力をしっかりと身につけます。
- (2) 経済活動と法・商品と流通など商業経済に関する科目では、商業や経済のしくみ、企業経営の方法などを学習します。これらは特に日常生活に密接な関係をもっているため、新聞・雑誌などに日頃から目をとおし、生きた学習をします。
- (3) 簿記・会計など経理に関する科目は、商業科目の中で重視されている科目の一つです。この科目は、会計処理をどのように行うかなどの実務（実際に業務を行うこと）が学習の中心です。したがって、例題をもとにして反復練習し、実践力をつけます。
- (4) 情報処理・商業技術など実技に重点をおく科目は、正確さとスピードが要求されるため、根気よく反復練習します。

Ⅳ 各科目の内容

基礎的な科目

ビジネス基礎

「ビジネス基礎」は、生産・流通・消費というビジネスの諸活動の意義や役割などを学ぶとともに、経済社会の一員として必要な社会性及び倫理観などを身につけ、ビジネスの諸活動に適切に対応する能力と態度を育てることを目的とします。

本校では、科目「課題研究」を「長商デパート」と関連づけてこの科目を学習します。さらに、毎年、自由テーマを設定し、調査研究を実施しています。

流通ビジネス科目群

商品と流通

「生産－流通－消費」というビジネスの諸活動の中で、みなさんは、消費の部分に関わっています。将来、社会人として働くことで生産や流通を担当することになります。もちろん、生活していくために消費もしていくことになります。生産の場面では、生活者（消費者）のニーズ(求めていること・もの)を知り、製品を生産し、流通の場面では、ニーズにあった商品を提供しています。これらの仕組みがビジネスとして成立し、その対象である商品についての学習をします。例えば、売れない商品も広告しだいでヒット商品になることがあります。そのためのセールスプロモーション（販売促進）の手法、商品研究、商品開発、そしてベンチャービジネス、起業家についても学習します。

商業技術

ビジネスに必要とされる計算、文書の作成、商業デザインについて、基礎的な知識と技術を学習します。具体的には、珠算・電卓による計算方法やコンピュータを利用した表やグラフを含む文書、ポスター、パンフレット作成などのグラフィックデザイン技法を学習します。

マーケティング

マーケティングとは、現代の複雑で流動的な市場・環境に商品を適合させるために行う企業における商品流通の諸活動のことをいいます。具体的には、市場調査・商品計画・販売価格・販売経路・販売促進などです。大量生産・大量販売・大量消費という現代市場の仕組みの中では、企業が

維持発展するために、ただ単に商品が売ればよいというだけでなく、消費者さらには社会全体の利益について考えることも必要になってきています。この科目では、売買業を中心としたマーケティングの知識・技術を学び、将来の職業生活の中で生かせるマーケティングのあり方について理解することが目的になります。

国際経済科目群

英語実務

みなさんは普段使う日本語をどうやって勉強しましたか？友達と話するとき、国語の教科書の文章を引用して話しますか？違いますね。話し言葉は、日常の会話の中で学習してきたと思います。

英語も同じです。教科書に書かれている単語や文法を勉強することはとても大切です。でも、それと同じくらい、「話すこと」によって、勉強した単語や文法を自分のものにしていくことも大切です。

この授業では、ゲームやロールプレイングを通じて、英語を「話す」練習をしていきます。みなさんの知らない外国の文化にも触れます。そして、徐々にビジネス英語が使えるように、一緒にステップアップしていきましょう。

Please make mistakes, and don't be shy!

経済活動と法

裁判員制度を知っていますか？これからは、日本もアメリカなどの陪審員制度と同じように一般の人も裁判に参加する時代になります。小学校・中学校・高等学校でも法律についての学習することが検討されています。みなさんは、法律の勉強は大学の法学部でするものと思っていませんか。商業高校では、普通高校で学習することのない商法・民法を中心とした学習を以前からしていました。近年は、家族に関する親族法や生活者（消費者）を守る法律や環境問題に関する法律も学習するようになりました。

法律やルールは、人々を規制するためにあるものでなく、互いの権利・義務を守るためにあります。社会生活を送るために欠くことのできない知識・教養です。自分で物事を法律的にとらえ考えることのできる力をつけましょう。法律を知るとTVの法律番組も楽しめ、ますます法律について学習意欲がわきます。

ー社会あるところに法ありー、あなたも弁護士になった気分です学習していきましょう。

国際ビジネス

企業活動は、国民生活と深くかかわり、企業の成長が地域や産業、経済の発展をもたらしています。このような「企業の経営」と「社会的責任」について学習します。また、わが国の経済の仕組みと財政の役割、産業構造の変化（サービス経済化）、さらに、モノとサービスの国際的取引と国際収支、国際金融の制度と仕組み、国際マーケティングの手法を学習します。

簿記会計科目群

簿記・会計

企業（会社）における日常の取引を合理的、機能的に記録・計算・整理できる能力と態度を身につけ、それらをもとに、企業会計の役割や制度及び財務諸表の作成やその役割について理解し、財務諸表から得られる情報を活用する能力と態度を身につけます。

原価計算

製品の製造記録から、製品の製造費用（原価）を算出する原価計算及び簿記に関する知識と技術を身につけ、原価計算から得られる情報を活用する能力と態度を身につけます。

会計実務

企業のグループ化や国際化など、変化の激しい経済社会の中で、実務に対応した会計に関する知識や技術を学習します。具体的には、連結財務諸表の作成、企業の国際化に伴う国際会計基準および法人税の計算を学習します。

●●●●●●●●●●●●●●●● 経営情報科目群 ●●●●●●●●●●●●●●●●

情報処理

情報処理とは、データを一定の手順で自動的に処理し、必要な情報を整える作業という意味です。ここで、「自動的に」というのは、コンピュータによって情報を処理するということです。

今日、情報化の進展に伴いコンピュータの利用分野が多様化し、ビジネスにおける幅広い情報活用能力が社会で求められています。

そこで、この科目では、コンピュータの基本的な仕組みやソフトウェアなど、情報処理機器の活用に関する知識と技術、さらに、ビジネス情報の意義や役割についても学習します。

ビジネス情報

ビジネスに関する情報を、表計算ソフトウェアやデータベースソフトウェアを利用して管理、分析、活用する知識や技術を学習します。この科目の学習をとおして、ソフトウェアを利用したビジネス情報システムを開発する人材、コンピュータを利用した業務の合理化、自動化を積極的に推進する創造的な人材を育てます。

文書デザイン

マルチメディアを活用してビジネス情報を創造的に表現し、分かりやすく、説得力のある文書などを作成するための知識と技術を学習します。この科目をとおして、情報通信ネットワークやソフトウェアを活用したプレゼンテーションやホームページにより、ビジネスにおける総合的な情報発信能力を身につけます。

プログラミング

コンピュータの効果的な運用方法や、ビジネスの諸活動に関する情報を合理的に処理し、活用する能力と態度の育成を目標としています。基本的なものから、本格的なプログラムまで学習します。また、情報処理

関係の検定試験や資格試験の学習のためにも、重要な科目になります。

●●●●●●●●●●●●●●●● 総合的科目群 ●●●●●●●●●●●●●●●●

課題研究

この科目は、商業に関する基礎的な学習の上に立って、教科の目標に合った商業に関する課題を自ら設定し、学習を進めていきます。その課題解決を自ら図る学習をとおして、学力を高め、応用性のある知識や技術を確実に身につけ、それを将来活用できる能力の育成を図ることをねらいとしています。

特に、本校では、長い伝統をもつ模擬株式会社『長商デパート大売出し』を課題研究とし、小売業や卸売業の経営活動に関する内容をとおして自ら学ぶ意欲を高め、社会の変化に対応できるような態度を養うことを目的としています。

総合実践

シミュレーションとかロールプレイングという言葉を知っていますか。あの有名な「ファイナルファンタジー」はロールプレイングゲームの代表ですが、その内容は、自分自身が物語の主人公になりきって疑似体験を進めていくものです。本校の「総合実践」も、その考え方に似ており、商業の総合的な知識を駆使した一種のゲームといえるかもしれません。2人が協力して会社を設立し、経営者として会社を運営し、その成果を競い合います。社員を雇い、商品を仕入れ、販売をします。時にはお店が火事に遭って仕入れた商品が売り物にならなくなったり、盗難に遭ったりすることもあります。しかし、何度か販売を繰り返すうちに、利益（もうけ）を出すためには何が大切かを体験的に理解し、会社を大きく発展させることができるようになるでしょう。この授業が終わったとき、3年間で学んだ商業の知識が、自分のものとして確実に身についたことを感じてもらえるはずです。